

科目名	担当教員	学期	単位
現代日本政治分析演習A	田中 愛治	前期	2

講義概要

投票行動、世論、政治意識、政治的価値観などの実証分析を行ない、その方法論を議論し、院生が交代で研究報告するようにしたい。分析対象を日本に限るわけではないが、現代政治分析を行って国際的に通用する水準の学術論文を書けるように、演習の指導を行いたい。その水準に達するためには、上記の分野では日本、もしくは日本を含めた国際比較を行うことが必要な場合が多いので、主に日本の世論調査データ（個人レベルデータ）や選挙データ（集計データ）の分析を中心にすすめたい。もちろん、上記の分野であれば、国際比較や外国のデータを用いることも可能である。

教科書として読んでいくのは、以下の文献である。

Richard Niemi, and Herbert Weisberg (編), *Controversies in Voting Behavior*, CQ Press (Congressional Quarterly Inc.), 2001.

Richard Niemi, and Herbert Weisberg (編), *Classics in Voting Behavior*, CQ Press (Congressional Quarterly Inc.), 1993.

シラバス

- [第1回] 実証分析に関する参加の院生の研究関心の報告。
- [第2回] 実証研究の論文を読む。
- [第3回] 実証研究の論文を読む。
- [第4回] 実証研究の論文を読む。
- [第5回] SPSSを用いて実証分析の方法論を学ぶ。
- [第6回] SPSSを用いて実証分析の方法論を学ぶ。
- [第7回] SPSSを用いて実証分析の方法論を学ぶ。
- [第8回] 参加の院生の実証分析の研究結果の報告。
- [第9回] 参加の院生の実証分析の研究結果の報告。
- [第10回] 各自の研究に関連する論文を読む。
- [第11回] 各自の研究に関連する論文を読む。
- [第12回] SPSSを用いて実証分析の方法論を学ぶ。
- [第13回] SPSSを用いて実証分析の方法論を学ぶ。
- [第14回] SPSSを用いて実証分析の方法論を学ぶ。
- [第15回] まとめ 総合評価など

教科書

Richard Niemi, and Herbert Weisberg (編), *Controversies in Voting Behavior*, CQ Press (Congressional Quarterly Inc.), 2001.

Richard Niemi, and Herbert Weisberg (編), *Classics in Voting Behavior*, CQ Press (Congressional Quarterly Inc.), 1993.

その他、院生と相談しながら、アメリカにおける投票行動、世論、政治意識の分野の最先端の論文や教科書をみてくようにしたい。例えば、Barbara Geddes, *Paradigms and Sand Castle*, the University of Michigan Press, 2003. などが考えられるが、演習が始まってから院生と相談して決めたい。

参考文献

Alan C. Acock, *A Gentle Introduction to Stata*, STATA Press, 2006

J. Scott Long & Jeremy Freese, *Regression Models for Categorical Dependent Variables Using STATA*, 2nd Edition, STATA Press, 2006

評価方法

院生の報告の質と、出席回数で決める。

関連URL

備考